

G7 広島 AI プロセス
G7 デジタル・技術閣僚声明
(2023年9月7日)

I. 前文

1. 我々G7 デジタル・技術担当大臣と OECD 及び AI に関するグローバルパートナーシップ(GPAI)を含むパートナーは、G7 首脳によって創設された G7 広島 AI プロセスの一環として、2023 年 9 月 7 日にオンラインで会合を開催し、基盤モデルと生成 AI を中心とする高度な人工知能(AI)システムの機会と課題について議論した。4 月 29-30 日に開催された G7 デジタル・技術大臣会合での責任ある AI と AI ガバナンスに関する議論及び G7 広島 AI プロセスでの作業を踏まえ、我々は、以下の取組を支持し、今後G7首脳に提示する。(1)G7 広島首脳コミュニケで強調された優先事項に基づき、生成 AI の優先的なリスク、課題、機会をまとめた OECD による報告書、(2)すべての AI 関係者に適用可能な国際的な指針の策定、(3)高度な AI システムを開発する組織向けの行動規範の策定、(4)責任ある AI ツールとベストプラクティスの開発を支援するプロジェクトベースの協力。

2. 我々は、民主主義、人権、法の支配、そして我々が共有する民主主義の価値と利益の促進に向け、新興国や発展途上国を含む世界中の公益のために、信頼できる AI システムが設計、開発、導入される環境を促進することにコミットすることを再確認する。我々は、民主主義の価値を損ない、表現の自由を抑圧し、人権の享受を脅かすような方法での AI の誤用・濫用に反対する。我々は、イノベーションを可能にする信頼できる AI のための国際標準と相互運用可能なツールの開発と導入を促進するというコミットメントを再確認する。これらの目的のため、我々は、OECD AI 勧告に基づき、人間中心で信頼できる AI を促進するというコミットメントを再確認する。

3. 我々は、最も迅速かつ緊急に、個人、社会、民主主義の価値に対する新たなリスクと課題を管理し、高度な AI システム、特に技術が急速に進歩している基盤モデル及び生成 AI がもたらす利益と機会を活用する必要性を認識する。我々は、人権の尊重を促し、包摂性を促進し、リスクを軽減し、気候危機や持続可能な開発目標(SDGs)の達成を含む社会最大の課題の解決に貢献する、安全、安心で信頼できる高度な AI システムの開発及び導入にコミットする。我々は、高度な AI システムの設計、開発、導入及び責任ある利用の促進には、リスクに基づいた適

切なガードレールと、新興国や発展途上国を含む同志国との国際協力が必要であるという認識を共有する。

4. これらの目的を達成するため、我々は、高度な AI システムを開発する組織向けの指針と国際的な行動規範を策定し、G7 首脳に提示することにコミットする。
5. 我々は、AI エコシステムにおける全ての AI 関係者に向けた全体的な指針を含む包括的な政策枠組みを年内に策定することを目指す。この包括的な枠組みは、責任ある AI イノベーションを支援し、それぞれの国内アプローチに沿った規制とガバナンス体制の整備の指針となるとともに、ステークホルダーへの働きかけと協議による恩恵を受けるだろう。指針を含む包括的な政策枠組みは、技術の発展に照らして、継続的に更新・補完され得る生きた文書とみなされるべきである。ステークホルダーへの働きかけと協議を行うことにより、新興国や発展途上国を含む世界中の主要なステークホルダーによる指針の精緻化と実践が担保されることになるだろう。
6. 我々は、安全、安心で信頼できる AI システムが、民主主義、人権、法の支配、そして我々が共有する価値観と利益を促進する公益のために開発及び導入される環境を促進することを約束する。

II. OECD 報告書に基づく優先的なリスク、課題、機会の理解

7. OECD が 2023 年 7 月から 8 月にかけて取りまとめ起草した報告書に基づき、優先事項として、また、生成 AI に関する共同作業を含め、共通の理解、立場、今後の行動に関する検討の基礎として、さまざまなリスクと機会が特定された。例えば、当該報告書において、G7 メンバー間で懸念される主要な分野として、透明性、偽情報、知的財産権、プライバシーと個人情報保護、公正性、セキュリティと安全性等が特定された。また、生産性の向上、イノベーションと起業家精神の促進、ヘルスケアの改善、気候危機の解決への貢献等の機会も特定された。報告書で特定されたリスクと機会は、高度な AI システムに関する G7 の今後の取組に役立つだろう。我々は、学术界、市民社会、政府、産業界のステークホルダーとも関わり、作業の一環としてこれらの問題についての彼らの意見を求める予定である。
8. 我々は、このような複雑な課題については、更なる作業とマルチステークホルダーの関与が必要であること、また、テクノロジーとリスク状況の進化に適応できる

アプローチを構築するためには段階的なプロセスが必要であることを認識している。

9. その第一歩として、我々は、OECD 事務局が G7 広島 AI プロセス作業部会からのインプットに基づき策定した「生成 AI に関する G7 の共通理解に向けた OECD レポート」を歓迎する。

III. 高度な AI システムの開発者向けの国際的な指針及び行動規範

10. 我々は、AI エコシステムにおける様々な AI 関係者が、既存及び新たな AI リスクに対処する責任を共有しており、AI の開発者、導入者、利用者を含む全ての AI 関係者に向けた指針を策定することの重要性を認識している。特に、我々は、基盤モデル及び生成 AI 等の高度な AI システムを開発する組織は、現時点において重要な役割を担っているものと認識しており、これらの技術の急速な進歩のペースに鑑みると、高度な AI システムを開発する組織向けの行動規範の策定はグローバル社会にとって最も緊急の優先事項の一つである。
11. この観点から、我々は、高度な AI システム、特に基盤モデル及び生成 AI を開発、導入、利用する組織に向けた指針の策定にコミットする。これらの指針は、高度な AI システムの開発者向けの国際的な行動規範の基礎となるだろう。また、我々は、これらの指針の一環として、著作権保護等の知的財産権に関する課題や、データ保護に関する課題についても引き続き検討していく。高度な AI システム開発向けの指針には以下の事項が含まれ得るが、これらに限定されるものではない。
 - a. 適切な安全対策の実施及び市場投入を含む導入前の社会的リスクの考慮
 - b. 市場投入を含む導入後の脆弱性の特定と低減に向けた努力
 - c. 十分な透明性を確保する形での、モデルの能力、限界、適切・不適切な利用領域の公表
 - d. AI 開発者と政府、市民社会、学界との間での責任ある情報共有に向けた取組
 - e. プライバシーポリシー及び AI ガバナンスポリシーを含むリスク管理計画及び低減手法の開発及び開示
 - f. サイバーセキュリティ及びインサイダー脅威対策を含む強固なセキュリティ管理措置への投資
 - g. 電子透かし技術等の AI が生成したコンテンツを利用者が識別できる仕組みの開発及び導入
 - h. 社会、環境、安全のリスクを軽減するための研究及び投資の優先的な実施

- i. 気候危機、グローバルヘルス、教育等の世界最大の課題に対処するための高度な AI システムの優先的な開発
 - j. 国際的に認知された技術標準の開発及び整合性確保の推進
12. 高度な AI システムの導入と利用のための指針は、G7 広島 AI プロセスを通じて策定される。
13. 法的枠組みから自主的なコミットメントその他のさまざまな手段、あるいはそれらの組み合わせに至るまで、国や地域によってこれらの指針に対して独自のアプローチをとることができる。

IV. プロジェクトベースの協力

14. 我々は、エビデンスに基づく政策議論を進める上で、OECD、GPAI、UNESCO 等の国際機関と協力してプロジェクトベースの取組を推進することを計画している。このようなプロジェクトベースの取組には、AI に対する信頼を高め情報環境を支援するために、外国からの情報操作を含む AI を活用した偽/誤情報を識別するための最先端の技術的能力に関する研究と理解を進めること等、OECD の生成 AI に関する G7 の共通理解に向けた報告書の中で G7 メンバーによって特定されたものが含まれる。
15. 我々は、今年後半に開始される生成 AI 時代の信頼に関するグローバル・チャレンジの策定も歓迎する。

付属書 1: 生成 AI に関する G7 の共通理解に向けた OECD レポート

(以下のリンク参照)

https://www.oecd-ilibrary.org/science-and-technology/g7-hiroshima-process-on-generative-artificial-intelligence-ai_bf3c0c60-en